

## 改憲訴える陣営との論戦を

日新聞  
朝新(H24)  
12.12.2

主婦 小山 百合

政治家同士の勢力争いに見え

(和歌山県橋本市 61)

ました。というのも、日本の将

11月26日付「改憲を訴える  
自民こそ心配」に同感です。来の針路に関する論議が欠け  
ていると思うからです。「マニフェストの大半を実  
現できなかった」と自民は民  
主を批判します。しかし、長  
年続いた自民政治が作っ  
たし  
がらみの後始末に追われて何  
もできないうちに大震災が起  
こり、自民が推進してきた原  
発の事故で放射能が飛散した  
のです。原発さえなかった  
ら、復興はもっと順調に進ん  
でいたでしょう。民主批判は  
適切だとは思えません。一方で、新党が乱立し離合  
を繰り返しています。私には私が第一に願うのは「原発  
即停止」「脱原発」ですが、そ  
の裏に隠れている大事な問題  
があります。それは26日の投  
稿者も指摘されるように、自  
民が訴える改憲問題です。戦後、何とか平和国家を維  
持できたのは、憲法9条のお  
陰です。戦争の傷痕が残る戦  
後間もなく生まれた私には、  
戦争について「永久にこれを  
放棄する」とする条文が輝い  
て見えます。9条を堅持する  
党を支持したいと思えます。